

生企甲達第70号
平成19年8月10日

関係所属長 殿

主	00	01	10	150	長期
---	----	----	----	-----	----

石川県警察本部長

銃砲火薬類等危険物に関する各種事件事故の報告要領について(通達)

- 対号1 昭和47年5月22日付け収防第470号「銃砲火薬類ならびに高圧ガス等危険物に関する各種事件事故の報告要領について(通達)」
- 対号2 昭和57年9月8日付け収保第359号「猟銃等による事故発生報告の一部改正について(通達)」

銃砲、火薬類、高圧ガス、消防危険物、放射性物質、毒物劇物、感染症病原体等のいわゆる危険物等の各種事件事故の発生に関する報告要領を定めたので、事務処理上遺憾のないようにされたい。

記

1 報告の対象

(1) 猟銃等使用犯罪

猟銃等を使用した故意犯罪であり過失犯は含まない。

(2) 猟銃等による事故

猟銃等による過失傷害、過失致死等の事故及び自殺事案

(3) 猟銃等の詐取事件

(4) 火薬類使用犯罪

火薬類を使用した故意犯であり、過失犯は含まない。

(5) 火薬類による事故

火薬類による過失傷害、過失致死等の事故及び自殺事案

(6) 火薬類の詐取、盗難事件

火薬類が詐取又は窃取された事件

(7) 危険物使用犯罪

高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質、感染症病原体等及び毒劇物を使用した故意犯であり、過失犯は含まない。

(8) 危険物による事故

ア 高圧ガス及び消防法の危険物による事故で、死者1名以上若しくは傷者2名以上のもの。

イ 放射性物質の所在不明事故及び放射能の漏えい事故、被爆事故

ウ 感染症病原体等の所在不明事故及び漏出事故

(9) 危険物の詐取、盗難事件

高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質、感染症病原体等及び毒劇物を詐取又は窃取された事件

(10) 車両により運搬中の危険物の事故

ア 車両により、高圧ガス、消防危険物、毒劇物又はその他の危険物（溶融金属高熱の鋳滓等）を運搬中に発生したこれら危険物の燃焼事故、爆発事故又は漏出事故

イ 車両により放射性物質を運搬中に発生した放射能漏えい事故又は漏出事故

ウ 車両により感染症病原体等を運搬中に発生した感染症病原体等漏出事故

2 報告様式

報告事項については、次の様式による。

(1) 猟銃等使用犯罪発生報告書（別記様式1号）

(2) 猟銃等による事故発生報告（別記様式2号）

(3) 猟銃等の詐取・盗難事件発生報告（別記様式3号）

(4) 火薬類使用犯罪発生（検挙）報告（別記様式4号）

(5) 火薬類による事故発生報告（別記様式5号）

(6) 火薬類の詐取・盗難事件発生（検挙）報告（別記様式6号）

(7) 高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質、感染症病原体等、毒劇物使用犯罪発生（検挙）報告（別記様式7号）

(8) 高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質、感染症病原体等による事故発生報告（別記様式8号）

(9) 高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質、感染症病原体等、毒劇物の詐取、盗難事件発生（検挙）報告（別記様式9号）

(10) 車両により運搬中の危険物事故等の発生報告（別記様式第10号）

3 報告要領

犯罪、事故が発生した都度速やかに電話又ははくさんネットのメール等をもって報告すること。

犯罪を検挙した場合も同様とする。

別記様式 1 号

猟銃等使用犯罪発生報告

発生日時	年 月 日 午前・後 時 分頃					
発生場所						
被疑者	住所 職業	氏名			年齢	歳
被害者及び被害程度	住所 職業	氏名	年齢	歳	死亡() 負傷() 軽傷()	
使用した猟銃等	種別		口径		商品名	
	形式		銃番号			
	許可の有無	有(年 月 日 公安委員会) 無				
	所持許可者と被疑者との関係	本人・家族・友人・詐取・窃盗・その他()				
使用した猟銃用火薬類等	種類	実包	空砲	銃用雷管	無煙火薬	黒色猟用火薬
	名称					
	数量	個	個	個	g	g
	譲受許可等の有無	有 { 年 月 日から 公安委員会 } 無 無許可譲受有 年 月 日まで				
		譲受目的				
		譲受目的が狩猟用の場合	(残火薬でない) (残火薬である… 個)			
	譲受許可(無許可譲受を含む)のない場合の入手先の捜査状況					
事犯の概要						
措置 (参考事項)						

- 注 1 この報告の対象は、猟銃等を使用した故意犯罪であり、過失犯は含まない。
- 2 被疑者、被害者、使用銃砲等が 2 以上の場合は主たるものについて記載しその数を概要欄に記載(「ほか 人」「死亡 人、負傷 人」「ほか 丁」等)すること。
- 3 被害程度の()内には、被害状況(「胸部貫通」「左大腿部盲貫」等)を記載すること。なお、重傷は、加療 1 カ月以上とする。
- 4 措置欄には、事件措置及び使用銃砲・使用猟銃用火薬類等の措置(押収、許可取消等)を簡記すること。

別記様式 2 号

猟銃等による事故発生報告

発生日時	年 月 日 午前・後 時 分 秒					
発生場所						
被疑者 (加害者)	住所 職業	氏名			年齢	歳
	狩猟免許	有	無	狩猟経験年数	年	
被害者及び 被害程度	住所 職業	氏名			年齢	歳
	死亡()		負傷()		軽傷()	
事故をおこ した猟銃等	種別		口径		商品名	
	形式		銃番号			
	許可の有無	有(年 月 日 公安委員会)			無	
	所持許可者と 被疑者との関係	本人・家族・友人・詐取・窃盗・その他()				
猟銃所持歴	最初の許可	年 月 日			公安委員会	
	現所持丁数					
	射撃教習修了年月日	年 月 日				
	射撃教習受講射撃場名					
使用した猟 銃用火薬類 等	種類	実包	空砲	銃用雷管	無煙火薬	黒色猟用火薬
	名称					
	数量	個	個	個	g	g
	譲受許可 等の有無	有 [年 月 日から 公安委員会]			無 無許可譲受 有	
		譲受目的				
		譲受目的が狩猟用の場合 (残火薬でない) (残火薬である… 個)				
		譲受許可(無許可譲受を含む)の ない場合の入手先の捜査状況				
事犯の概要						
措置 (参考事項)						

- 注1 この報告の対象は、猟銃等による過失傷害等の事故及び自殺、自損であり、故意犯は含まない。
- 2 被疑者、被害者、事故銃砲等が2以上の場合は主たるものについて記載しその数を概要欄に記載（「ほか 人」「死亡 人」等）すること。
 - 3 被疑者欄の狩猟免許の有無、狩猟経験年数は、狩猟に伴う事故の場合についてのみ記載すること。
 - 4 被害程度の（ ）内には、被害状況（「胸部貫通」「左大腿部盲貫」等）を記載すること。
なお、重傷は、加療1カ月以上とする。
 - 5 猟銃商事歴欄の「現所持丁数」には、猟銃の種類ごとの丁数を記載すること。
 - 6 事犯の概要欄は、暴発事故にあっては、安全装置をかけないでいたか否かについても記載すること。
 - 7 措置欄には、事件措置及び行政処分（予定の場合はその旨）について簡記すること。

別記様式 3 号

猟銃等の詐取・盗難事件発生報告

発生日時	年 月 日 午前・後 時 分頃から 年 月 日 午前・後 時 分頃までの間
発生場所	
被害者	住所 氏名 年齢 歳 職業
被害猟銃等	種別 口径 商品名
	形式 銃番号
	許可の有無 有(年 月 日 公安委員会) 無
	被害猟銃等と被害者との関係 本人のもの・家族のもの・友人のもの・その他()
被害猟銃用火薬类等	種類 実包 空砲 銃用雷管 無煙火薬 黒色猟用火薬
	名称
	数量 個 個 個 g g
	譲受許可等の有無 有 [年 月 日から 公安委員会] 無 無許可譲受有 [年 月 日まで]
	譲受目的
	譲受目的が狩猟用の場合 (残火薬でない) (残火薬である… 個)
	譲受許可(無許可譲受を含む)のない場合の入手先の捜査状況
被害品の保管状況	被害猟銃等
	被害猟銃用火薬类等
被疑者	
事件の概要	
措置(参考事項)	

注 1 この報告の対象は、猟銃等の詐取、盗難事件であるが、警察庁あて電送手配したものは報告を要しない。

2 保管状況は、実包等の装てんの有無、保管場所及び施錠の状況等について記載すること。

- 3 被疑者欄は、不明の場合は「不明」、人相特徴が判明していない場合は「人相、特徴」、
検挙した場合は「住所、職業、氏名、年齢」を記載すること。
- 4 被害者、被害品、被疑者が2以上のときは主たるものを記載し、概要欄にその数を記載
すること。
- 5 措置欄には、事件措置（捜査状況）を簡記するとともに、被害が回復した場合は被害品
の措置についても記載すること。

別記様式 4 号

火薬類使用犯罪発生（検挙）報告

発 生 日 時	年 月 日 午前・後 時 分頃
発 生 場 所	
被 疑 者	住所 職業 氏名 年齢 歳
被害者及び被害程度	住所 職業 氏名 年齢 歳 被害程度
使用した火薬類の種類・数量	火薬類の種類 数 量
使用した火薬類の入手経路	
事 犯 の 状 況	
捜 査 状 況	
措 置 (参考事項)	

注 1 この報告の対象は火薬類を使用した故意犯であり、過失犯は含まない。

2 「使用した火薬類の入手経路」は、「元稼働先の 市 町の土木工事現場の庫外貯蔵所から盗んだもの」、「 市 町の 1 級火薬庫から盗んだもの」等具体的に記入すること。

別記様式 5 号

火薬類による事故発生報告

発 生 日 時	年 月 日 午前・後 時 分頃
発 生 場 所	
被 疑 者 (加 害 者)	住所 職業 氏名 年齢 歳
被害者及び被害 程度	住所 職業 氏名 年齢 歳 被害程度
事故を起こした 火薬類の種類・ 数量	種類 数量
事故を起こした 火薬類の入手経 路	
事 故 の 概 要	
措 置 (参考事項)	

注 1 この報告の対象は火薬類による過失傷害等の事故および自殺等であり、故意犯は含まない。

2 「事故を起こした火薬類の入手経路」は、別記様式 4 号の注 2 に準じて具体的に記入すること。

3 「措置」は、事件措置について簡記すること。

別記様式 6 号

火薬類の詐取・盗難事件発生（検挙）報告

発 生 日 時	年 月 日午前・後 時 分頃から 年 月 日午前・後 時 分頃までの間
発 生 場 所	
被 害 者	住所 職業 氏名 年齢 歳
被害品の種類・ 数量	
被 疑 者	住所 職業 氏名 年齢 歳
事 件 の 概 要	
捜 査 状 況	
措 置 (参考事項)	

注 1 この報告の対象は火薬類詐取・盗難事件であるが、警察庁あて発生手配したものは報告を要しない。

2 「発生場所」は、場所名のほか「土木工事現場の作業小屋」、「1級火薬庫」等具体的に記入すること。

3 「措置」は、盗難等の結果不法貯蔵、火薬庫の構造設備等についてとった警察措置を記入すること。

別記様式 7 号

高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質、感染症病原体等
毒劇物使用犯罪発生(検挙)報告

発 生 日 時	
検 挙 日 時	
発 生 場 所	
検 挙 場 所	
被害者及び被害 程度	住所 職業 被害の程度 氏名 年齢 歳
被 疑 者	住所 職業 氏名 年齢 歳
押収した危険物 の名称・数量	
事 犯 の 概 要	
捜 査 の 状 況	

注 1 該当する表題の危険物を で囲むこと。

2 発生報告は、報告の時点で判明した事項について報告し、他の事項は、検挙報告の際報告すること。

別記様式 8 号

高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質
感染症病原体等による事故発生報告

発 生 日 時	
発 生 場 所	
被害者及び被害 の程度	住所 職業 氏名 年齢 歳 被害の程度
被 疑 者	住所 職業 氏名 年齢 歳
事故を起こした 危険物の名称・ 数量	
事 故 の 概 要	
捜 査 の 状 況	

注 該当する表題の危険物を で囲むこと。

別記様式 9 号

高圧ガス、消防法上の危険物、放射性物質、感染症病原体等
毒劇物の詐取、盗難事件発生（検挙）報告

発 生 日 時	
検 挙 日 時	
発 生 場 所	
検 挙 場 所	
被 害 者	住所 職業 氏名 年齢 歳
被 疑 者	住所 職業 氏名 年齢 歳
詐取又は窃取された危険物の名称・数量	
事 犯 の 概 要	
捜 査 の 状 況	

注 1 該当する表題の危険物を で囲むこと。

2 発生報告は、報告の時点で判明した事項について報告し、他の事項は、検挙報告の際報告すること。

別記様式10号

車両により運搬中の危険物事故等の発生報告

発生日時					
検挙日時					
危険物の種類、 名称、数量					
車両の種類別	タンク ローリー	貨物 自動車	二輪 自動車	その他	
事故の種類別	燃焼、爆発、漏出		放射能漏えい	放射性物質の紛失	
運送人	所在地 (住所)			名称 (氏名)	
運転者	住所			運転 種別	
	氏名、年令			免許 取得年月日	
概要					
原因					
警察措置					

注 運転免許欄は、運転者が第1原因者となって発生した交通事故に基因する事故についてのみ記入すること。